

(様式1)

校 種	④ ・ 中 どちらかに○	学校番号	3 9	学校名	宇都宮市立城山中央小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	--------------

平成29年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

健康で豊かな心を持ちたくましく生きる子どもを目指して、感性を磨き、社会的知性と実践力を身に付ける。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- | | | | |
|--------------|-------|-------|-----|
| ○ 進んで勉強する子ども | _____ | かしこく | (知) |
| ○ 思いやりのある子ども | _____ | なかよく | (徳) |
| ○ 喜んで働く子ども | _____ | | |
| ○ 健康で明るい子ども | _____ | たくましく | (体) |

2 学校経営の理念

「 **みんなが 楽しく 城山中央小学校** 」を理念とし、子どもが居がいを感じ、楽しい学校、教職員が子どもとふれあい、教育に楽しさを感じる学校、保護者・地域住民から学校の取組に信頼が寄せられる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針

- (1) 城山中央小学校の歴史と伝統を踏まえ、長年にわたって築いた教育の精神や校風を継承し、その発展に努める。 (経営全般)
- (2) 学校経営の中核に児童の確かな学力の定着を位置づけ、目標を設定し基礎基本の確実な定着と課題解決に必要な資質能力を育てる。 (学力の向上)
- (3) 規範意識や倫理観などの社会性を身に付け、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成に努める。 (社会性と豊かな心及び体力の育成)
- (4) 家庭・地域社会との連携強化に努めるとともに、家庭・地域の教育力を生かした教育活動を充実し、地域に根ざして開かれた「地域の学校づくり」に努める。 (家庭・地域社会との連携)
- (5) 教育公務員としての使命を自覚し、和と協働の精神を大切にして、専門職にふさわしい資質の向上を目指すとともに授業者としての授業力の向上を図る。 (教職員の資質の向上)

[城山地域学校園教育ビジョン] ⇒ 「ともに学び合う城山っ子を育む地域学校園」

人と関わり合うことを大切にし、ともに向上しようという意識を高めながら、望ましい人間関係のもと、支え合いと活気のある集団の中で、様々な活動に主体的、意欲的に取り組む児童生徒を育てる教育を積極的に推進する。

[スローガン] なんでも全力、みんなでチャレンジ

4 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- 学び合う楽しさ、豊かな心の育成を目指した、和と協働の学校づくりの推進
～「みんなが楽しく 城山中央小学校」～

(2) 学習指導

基礎基本を身に付け、自ら考え生き生きと表現する児童の育成

(3) 児童指導

- 思いやりの心を持ち、決まりやルールを守り、主体的な行動ができる児童の育成
～児童と児童、児童と教師のコミュニケーションをより深めることを通して～

(4) 健康（体力・保健・食・安全）（元氣アップ教育に係る取組を含む）

自分の体に関心を持ち、進んで健康の保持増進と体力の向上に励む児童の育成
～教科体育や体育的行事の充実と児童が体を動かしたくなる体育的環境の整備～

5 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

6 特色ある学校づくり等に関する取組

本校の特色は、児童一人一人の主体性と豊かな心を育む「まごころ教育」の推進である。まごころ教育は、「花と緑と小鳥の学校」の実践を核とした「自然とのかかわり」と福祉教育・縦割り班活動・地域素材の活用の中での「人とかかわり」という両面からその深化・拡充を目指すものである。

(1) 育てたい資質・能力

- ① まごころ広場等での、自然とのふれあいを生かした体験活動を通して自然を愛し、保護しようとする心や主体的に取り組む態度を育てる。
- ② 福祉施設や地域高齢者との交流を推進することにより、様々な立場の人にそれぞれの良さがあることや助け合ったり思いやったりすることの大切さに気づき、進んで社会のために奉仕しようとする態度を養う。
- ③ 縦割り班での活動を通して、個々の立場を認め、協力して充実した活動へと高めようとする態度を養う。また交流する中で、下級生への思いやりや上級生への尊敬の心を培う。
- ④ 地域素材を教材化したり、地域人材を中心とする「町の先生」に教えていただいたりする中で、コミュニケーション能力を高め、地域への関心や地域を愛する心を育てる。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には文頭に◇）

- ◇① 学習指導の充実（「分かる授業」の展開を図るための授業改善を行うとともに、学びの基盤となる環境づくりに努め、基礎学力を向上させる・英語で伝え合う活動を通して、主体的にコミュニケーションを図る児童の育成に努める）
- ② まごころ広場の活用（計画的に各教科や総合、クラブ、音楽朝会等で使用する）
- ◇③ 福祉施設との交流（舘藭会訪問、入所者との交流活動を行う）
- ◇④ 地域高齢者との交流（まごころ会食や生活科「昔の遊び」の実施、学校行事への招待）
- ⑤ 縦割り班による人づくり（年2回の奉仕作業、1年生歓迎会、なかよし集会、6年生を送る会 など）
- ⑥ 実践力を育てる道德教育の推進（心に響く道德教育の充実を図るとともに、体験的な活動を工夫する。）
- ◇⑦ 地域素材の教材化（城山地区の文化財を授業等で活用する）
- ◇⑧ 地域教育ボランティア「町の先生」の活用（読み聞かせや「すこやか教室」を実施する）
- ◇⑨ 家庭と連携した食育に関する取組（食事のマナー向上や食への関心を高める工夫に努める）
- ◇⑩ 健康・体力を向上し、健やかな体を育てる取組（まごころ広場等体育的環境を活用した活動の工夫をする）
- ◇⑪ 図書室の整備と絵本のくのにの充実、家読の推進（読書リレー、親子読書の推奨と、ブックトークの充実を図る）

7 本市の重点施策・事業と関連する取組

(1) 地域とともにある学校づくり「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」

① 基本的な考え

地域との連携強化に努めるとともに、地域の教育力を生かした教育活動を充実させ、地域に根ざした「開かれた学校づくり」を行い、学校が地域住民の思いを生かし、地域に学び地域とともに発展することができるようにする。

② 主な取組

- ・授業参観や学校公開日の工夫・「城央小町の先生」の活用・地域行事への児童の参加
- ・PTA や魅力協と連携した活動（あいさつ運動、「学校へ泊ろう」、「焼きいも焼けるかな?」等）
- ・各種便りの充実 等

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的な考え

地域学校園の小中教職員が相互理解を深めるとともに、地域学校園教育ビジョンの実現に向け、一丸となって具体的で効果的な取り組みを進め、学校園内各小中学校との連携による地域一体の教育を推進する。

② 主な取組

- ・小中乗り入れ授業・合同研修会（「小中が連携した英語教育」「地域に残る文化財の活用」）・小中合同あいさつ運動
- ・小中一貫教育だより発行・冒険活動教室での合同イベント・城山中合唱コンクール6年生参観 等